

Grand Toit News

グラントワニュース

vol. 17
Spring 2009



企画展紹介

「心やすまる風景にふれる」

劇場事業紹介

「春爛漫 ラインナップが花開く」

●特集 「室町文化フェスティバル at グラントワ
五感で楽しむ室町」

●「一流人、登場」 神崎宣武(民俗学者)

イベントカレンダー 2009年4月～7月

ゴールデンウィーク
GWも
休まず開館

心やすまる 風景にふれる

展覧会担当の真住学芸グループ課長にききました。



《山郷》1958年 第21回独立展 島根県立美術館

ら、そのやわらかな雰囲気が高原の爽やかさや農村の牧歌的のどかな雰囲気と結びつき、童画の世界へ近づいていきます。特に「中尾グリーン」とも言える新緑のような明るい黄緑色がでてくると、その後そのグリーンが中尾作品の代名詞のように繰り返し登場して作品を印象づけていきます。そうした作風の変遷を時代を追って見るができるのが醍醐味です。



《残壁(旧高州)》1931年 島根県立美術館

のための絵)を制作しました。特に坪田譲治とコンビを組み、その児童文学に挿絵を描くことが知られています。戦後の教科書にもよく挿絵がみられます。ですので、絵を見ると、どこかでみたような懐かしさがあるのではないかと思います。画家としては独立美術協会に所属し、生涯同会に出品しました。

もっていました。この展覧会はその緑の地にある石見美術館、練馬区立美術館、茅野市美術館の3館のコレクションを中心に開催されます。

これまで中尾彰の展覧会が行われたと思いますが、今回の展覧会と過去の展覧会はどう違うのでしょうか。

緑のある3館のコレクションが一堂に集まるのははじめてです。遺族からも作品を拝借していますので、中尾彰の全貌に迫ることのできる内容になっています。過去の展覧会はこちらかという童画の制作につながる作品を中心にしていますが、今回は、画家としての業績を振り返ることを中心に作品を選ん

でいます。特に戦前の作品はこれまであまり知られていませんでしたので、あらたな中尾彰を発見することができるでしょう。もちろん懐かしい絵本の挿絵なども展示します。

中尾さんの絵のみどころは？

まずは「青の時代」といってもいいような初期の青く重厚な雰囲気の作品で、このころには後の童画的な世界はありません。若き中尾の画家としての意気込みが感じられます。しかし徐々にその作風に変化が出ていきます。画面が明るい色彩へ変化し、もののかたちは単純化され、全体にやわらかな雰囲気ある作品を描き出します。戦中、長野県の蓼科に疎開した頃か

絵本などもあるのですか？

中尾彰自身が文章と絵の両方を手がけた本があります。『あかいてぶくろ』や『うちのふくろう』などのように子供向けのものもありますが、『美しき津和野』のように大人のために作られた絵本もあります。今回は展示会場内に、自由に絵本が読めるコーナーを作ります。ご家族で絵も本も両方楽しんでいただければと思っています。

最後にお客さまへのメッセージを。

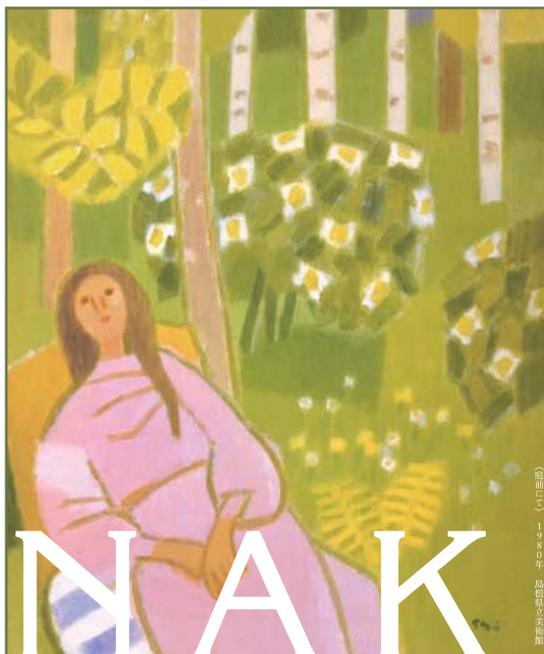
中尾さんの絵は、懐かしさにあふれ、見る人の気持ちを優しくしてくれます。期間中は小中学生が観覧無料になる「子どもWEEK!(4/29-5/11)」などもありますし、是非ご家族と一緒に見に来てもらえればと思います。

今回は中尾彰の展覧会ということですが、中尾彰とはどんな人物だったのでしょうか。

中尾彰は、明治37年津和野町に生まれました。画家であり、詩人、絵本作家という側面ももった人です。また、戦前から、子供のための美術を提唱し、自ら多くの童画(大人が描く子供

今回の展覧会のタイトルは、中尾彰・津和野・東京・蓼科一展となっています。この津和野・東京・蓼科とはどういう意味でしょうか？

それぞれ緑のある土地を結びました。津和野に生まれ、東京(練馬区)に住み、蓼科(長野県茅野市)にアトリエ兼別荘を



中尾彰

—津和野・東京・蓼科—展

2009年4月17日(金)～6月15日(月)

【開館時間】10:00～18:30 [展示室への入場は18:00まで]

【休館日】毎週火曜日 [ただし4月28日(火)、5月5日(火)は開館]

【主催】島根県立石見美術館 / 日本海テレビジョン放送株式会社 [協力]津和野町 / 津和野町教育委員会

【観覧料】当日券 / 一般:1,000(800)円、企画・コレクション展セット 1,150(920)円

大学生:600(450)円、企画・コレクション展セット 700(530)円

小中高生:300(250)円、企画・コレクション展セット 300(250)円

前売券 / 企画・コレクション展セット 一般:900円、大学生:500円、小中高生:200円

※()内は20名以上の団体料金 ※小中高生の学校利用は無料 ※障害者手帳保持者およびその介助者は入場無料

※前売券は、ロゾン各店(Lコード 63316)、JRの主な駅、主な旅行会社、各アレイガイドにてお求めになれます。

島根県立石見美術館

NAKAO SHO

関連プログラム

講演会 「戦前・戦後の絵本事情」

4月26日(日) 14:00～15:30

【講師】松本 猛 (安曇野ちひろ美術館館長、長野県信濃美術館・東山魁夷館館長)

【会場】講義室 (当日先着順)

【入場料】無料

ワークショップ & 絵本ライブ

「よしと&ひうた with チルドレン

ライブ・ペーパー・ストーリー

at グラントワ!」

◎ワークショップ

5月23日(土) 10:00～15:00

◎リハーサル及び発表会

5月24日(日) 12:30～15:00

【会場】講義室、石見美術館ロビー

※詳細ページ「PICK UP EVENT」参照

【ギャラリー・トーク

4月18日(土)、5月16日(土)、31日(日)、

6月7日(日)、14日(日) 各日14:00～

【会場】展示室D

参加無料 ※ただし本展観覧券

またはミュージアムパスポートが必要です。

春爛漫 花開く ラインナップが



わが国では無伴奏コーラスという意味で通っています。そのア・カペラ・コーラスブームの火付け役とも言えるべきゴスペラーズの心地よいハーモニーは、デビュー15年とはとても思えない新鮮さ。美術館好きの彼らにとっても、グラントワ公演は楽しみなのでは。

さて8月には、劇団四季の「ウェストサイド・ストーリー」の登場です。ブロードウェイ初演は1957年ですが、団魂世代以上の方にはジョージ・チャキリスの映画のイメージが強いのではないでしょうか。バーンスタインの音楽とジェローム・ロビンスのすさまじいまでの振り付けは、歌唱力とダンス能力のある四季でなければこなせません。彼らの能力を、最大限発揮してくれることでしょ。是非お楽しみください。また11月には、宝塚歌劇団公演もありますよ。

9月には東京都交響楽団コンサート。地元益田出身のトランペット奏者岡崎耕二さんもメンバーに入っています。12月にはギエフパレエの「くるみ割り人形」このパレエ作品はクリスマスプレゼントの人形が主人公ですから、クリスマス時期に上演されることが多いのです。

ところで5月の連休には、今年も「室町文化フェスティバル」が開催されます。益田系あやつり人形公演や今福優さん+「産土の舞」公演や島根邦楽集団演奏も予定されており、中世の香

り豊かな益田ならではの内容となっています。

またグラントワの指定管理者である島根県文化振興財団では、育成・創造・協働事業に力を入れています。「いわみ舞台塾」や「いわみキッズ塾」を中心としたワークショップで育った人材が、さまざまな創造事業に参加していますし、住民の方たちによる創造事業のサポートも行っています。また今年から、小中学校へのアウトリーチ（出前公演）を中心とした邦楽モデル事業もおこないます。以前には住民参加事業という舞台出演や裏方さんでの参加がメインでしたが、それ以外のシーンにも参加する新しい形の協働事業が増えてきています。館内で不定期に開催している「いつでもどこでも音楽祭」なども、一種の協働事業といえるでしょう。

[Y.A]



撮影：荒井健

グラントワと年中行事

昨年引き続き、グラントワでは「室町文化フェスティバル」を開催します。中世の歴史に彩られるこのまちで、舞台芸術・美術はもとより、あらゆる「文化（Culture）」に取り組んでいるのがグラントワです。開館時から既に、季節にちなんでお茶をふるまう「Tea ガーデン」などで年中行事を取り込んできましたが、今後はさらに伝統芸能と食文化を組み合わせた事業なども、地域の人々との協働により取り組んでいきたいと考えています。年

グラントワを観る

中行事という文化を失いついてきている都市。それらの都市は、確かにサブカルチャー分野で世界をリードしてはいます。しかしそれを牽引する東京は、たかだか400年の歴史しか持ち合わせていません。江戸っ子の私としても、残念ながら中世の歴史というものには太刀打ち出来ません。中世は、日本の本物の文化を作り上げた時代です。本物を有する中世のまちで、いま我々は真の文化創造に取り組んでいるのです。日本が文化国家と言われるようになるまで。

(いわみ芸術劇場館長 山崎篤典)

PICK UP EVENT



ワークショップ & 絵本ライブ
よしと & ひうた with チルドレン
ライブ・ペーパー・ストーリー
at グラントワ!

島根県松江市在住の若手絵本作家のよしとさんと、シンガーソングライターひうたさん。二人は「ライブ・ペーパー・ストーリー」という歌や音楽を交えたライブのような絵本の読み聞かせをしています。今回は、よしとさん、ひうたさんと一緒に、オリジナルの紙しばいをつくり、音楽とあわせて「グラントワ」で発表します。

【日時】ワークショップ 5月23日(土) 10:00~15:00

リハーサル及び発表会 5月24日(日) 12:30~15:00

【会場】講義室、石見美術館ロビー

【対象】小学生(小学校3年生以下は保護者同伴) 【定員】20名(先着順) 【参加費】無料
【申込方法】電話またはFAXにて、お名前(ふりがな)、学年、住所、電話番号、ファックス番号をお知らせください。TEL 0856-31-1860 FAX 0856-31-1878

よしと 絵本作家として活躍。音楽家など興業種とのコラボレーションも。松江市在住。
ひうた 大根島出身。シンガーソングライター。絵本や映像などのコラボレーションも行う。松江市在住。

劇・場・を・探・る



【客席の照明効果】

ホールの客席に入ると、いつも点灯している照明。開演時には消えていきますね。しかし、客席の照明と云えども色々役割があるのをご存知ですか？照明が消えることで、公演の始まりを意味したり、オペラの場合だとフワフワと明暗させ、開演の合図とします。また壁面にも照明があり、日常の生活とは違う異空間を演出する事も出来ます。公演において客席の照明を変化させる事も演出の重要なポイントとなるのです。

第2回 室町文化フェスティバル

室町文化フェス 益田

入場無料

島根県無形文化財 益田系あやつり人形定期公演

2009年5月4日(月) いわみ芸術劇場 小ホール
日本を唯一、古くからの形態を留めている益田系あやつり人形をご堪能ください。
出演：益田系あやつり人形保持者会

島根邦楽集団演奏会

2009年5月5日(火) 14:00~(予定) いわみ芸術劇場 大ホール
雅な和の音が五月の空を吹き抜けます。
出演：島根邦楽集団(代表：熊谷雅楽)、益田短期高等学校邦楽部、キッズ邦楽塾

神州太鼓演奏会

2009年5月5日(火) 11:00~、13:00~ 2回公演
グラントワ中庭広場
力強い打音の中にも女性ならではの繊細な表現。益田初公演!
出演：MIOの会

MIKA NAKASHIMA CONCERT TOUR 2009 ☆ TRUST OUR VOICE

中島美嘉 MIKA NAKASHIMA

CONCERT TOUR 2009 TRUST OUR VOICE

2009年5月9日(土) いわみ芸術劇場 大ホール
入場料/全席指定 6,800円
開場・開演時刻 / 開場 17:30 開演 18:00

チケット完了!

ゴスペラーズ 坂ツアー 2009

15周年漂流記 春夏

2009年5月16日(土) いわみ芸術劇場 大ホール
開場 / 16:45 開演 / 17:30
指定席・立見ともに6,000円(税込)

3月1日(日) チケット発売

3年半ぶりとなる待望のグラントワ公演決定!! デビューから15周年目を迎えた日本屈指の本格派男性ヴォーカルグループ、ゴスペラーズの珠玉のハーモニーがグラントワに響きわたる。

劇団四季

ウェストサイド物語

2009年8月21日(金) いわみ芸術劇場 大ホール

開場 / 18:00 開演 / 18:30
入場料 / S席 8,000円 A席 6,000円 B席 3,000円

ブロードウェイ開幕から半世紀。永遠に輝き続ける青春の神話『ウェストサイド物語』を劇団四季バージョンでお届けします。完璧な振付け、完璧な音楽。これぞ劇団四季ミュージカルの原点です!!

6月20日(土) チケット発売

撮影：荒井健



五感で楽しむ「室町」

室町文化フェスティバル at グラントワ

島根県益田市は、石見全域にわたって勢力を誇った中世の豪族益田氏ゆかりの土地です。市内には益田氏に関連のある三宅御土居跡や七尾城跡をはじめ、中世の息づかいが感じられる神社や仏閣等が数多く残っています。中でも画僧雪舟が遺した医光寺と萬福寺の庭園は、国の史跡及び名所に指定された重要なものです。

今年の「室町文化フェスティバル」では、「中世の食再現プロジェクト」をはじめ、伝統芸

能・伝統行事・年中行事をとおり、中世から現代に伝わる文化をお楽しみください。

対談 「伝統文化の薫る暮らし」

5月9日(土) 14:00～
スタジオ1

黒川光博 × 内藤 廣
(虎屋十七代目) × (グラントワ)設計者

室町時代から続く老舗和菓子店、虎屋のご当主と、建築家の内藤廣さんによるトークショー。

みさよいうて 美術館に



室町文化フェスティバルに合わせて開催される「年中行事をたのしむ」について、担当学芸員川西さんに聞きました。

Q1. 年中行事をテーマにしたのは、なぜですか？

古くから伝わる年中行事の中では、自然の恵みである花や作物を飾ったり、食べたりして、健康で幸せな生活が祈念されてきました。そうした姿が表された美術品をとおして日本古来の美意識を感じることができると考え、「室町文化フェスティバル」に合わせて開催することにしました。

Q2. どんな作品が展示されますか？

会期中に迎える端午の節句を中心に、年中行事にちなんだ絵画、浮世絵、着物、彫刻などを展示します。行事そのものを描いた絵だけでなく、かわいなお菓子の絵や、節句から連想されるイメージを形にした洒落た作品もありますよ。

OPENING EVENTS

5月4日(月) 中庭広場

1 オープニングセレモニー
10:00～

2 「産土の舞」+今福 優
10:15～11:15 15:00～16:00
[出演]産土の会、益田市内保育園園児、今福優

3 子ども神楽 11:25～12:25



中世の食再現プロジェクト発表会

5月4日(月)
多目的ギャラリー

柏餅をつくって食べよう

5月4日(月)
中庭広場

菖蒲湯をたのしもう

5月4日(月)・5日(火)
中庭広場

ふだんのお茶席&華道展

5月4日(月)・5日(火)
大ホールホワイエ(お茶席)・
スタジオ1(華道展示)

室町フェスカかるた大会

5月5日(火) 10:00～
多目的ギャラリー

※詳細は追ってホームページ・チラシなどでご案内します。

Collection Pick up

石見美術館



田中頼璋
《白雲紅樹》

2008年、島根県西部を流れる高津川が水質日本一と認められました。これは07年に続く2年連続の快挙です。美しい川の恵みに感謝しつつ、この栄誉をともに喜びたいものです。

特別展
「描かれた清流」
5月13日(水)～7月12日(日)

さて石見美術館のコレクションの中には清流が描かれた絵画はないのでしょうか？そういう目で探してみるといくつかの作品が見つかりました。

写真は島根県邑南町出身の日本画家田中頼璋(1866-1940)の作品です。赤や黄色に色づいた木々の鮮やかさを引き立てるのに清流が一役かっています。滝から流れる青い水が画面に清らかさと潤いをもたらしているようです。

このように日本の風景になくはならない清流は、古今の画家たちの視線を集めてきたといえるでしょう。

一流人、登場



神崎宣武

年中行事とは、毎年決まった日に催す「まつり」である。古く、葬儀以外は、すべて「まつり」といった。節供まつり、田植まつり、盆まつり、八朔まつりというように。

「まつり」は、ひとつには、カミや精霊を「祀る」。もうひとつには、人びとが「まつわる」。

血縁・地縁・社縁、それぞれの社会で「まつり」を育んできた。

それは、神人が交流の場であり、神人が共食の場でもある。季節の変わり目や労働の納めどころで、「おかげ」を授かり、滋養食を食べあわせて再生をはかるのである。

とくに、日本の「まつり」では、「旬」の食材を使ったごちそうを尊んだ。「旬」の生命力を体内にとり入れることで、再生力の強化をはかったのである。

まつりとは
食うが命の
洗濯か

神崎宣武 KANAZAKI NORITAKE
1944年岡山県生まれ。民俗学者。現在、「旅の文化研究所」所長・東京農業大学客員教授など。
岡山県宇佐八幡神社社司でもある。主筆に、『三九歳』『まつり』の食文化』『酒の日本文化』『しきたりの日本文化』などがある。

石見の夜神楽

公定演期

開催日時
毎週日曜日
開演/18:00 開場/17:30
※ただし4/5、4/19は休演

会場 石見芸術劇場 小ホール 他
出演者 石見地域の各神楽社中
入場料 高校生以上 500円
全席自由・前売当日同料金
※中学生以下は無料
※2,000円で5回鑑賞出来る回数券もあります。

チケット 随時

今年の「石見の夜神楽定期公演」は、大田市から津和野町までの42社中が出演、一口に神楽と言っても、地域によって舞い方が違うその妙味をご堪能ください。

Grand Toit Theater

グラントワシアター

会場 いわみ芸術劇場 小ホール
入場料 一般: [前売]1,000円 / [当日]1,200円
(友の会会員は各200円引)

グラントワシアターはいわみ芸術劇場小ホールで毎月1回オープンする映画館です。35mm映写機と、迫力の音響システムを備え、上映作品・画質・音質ともに大変好評をいただいています。最高の作品をスクリーンで、すばらしい音に包まれる至福の時を過ごしませんか。

【グラントワシアターお得情報】
グラントワホール友の会会員の方が、グラントワシアター6回鑑賞していただきますと、いわみ芸術劇場主催公演チケット購入補助券500円プレゼントいたします。

3月の上映作品
おくりびと
3月21日(土)
[出演]本木雅弘、広末涼子、山崎賢人

4月の上映作品
崖の上のポニョ
4月11日(土)、12日(日)
詳細は追ってホームページなどでご案内します。

石見美術館コレクション展

展示室 A

特別展 西晴雲
3月18日(水)～5月11日(月)
大田市出身の南画家、西晴雲を紹介。「ほのぼの癒し系」の世界をお楽しみください。

高津川水質日本一記念
特別展 描かれた清流
5月13日(水)～7月12日(日) ※「コレクション・ピックアップ」参照

展示室 B

コレクション展 版画の技法
3月25日(水)～4月22日(水)
木版画、銅版画、リトグラフ、スタンシルなど様々な技法がある版画。本展ではこうした版画を技法別に紹介します。

特別展 年中行事をたのしむ
4月25日(土)～6月15日(月) ※「美術館にきてみよう」参照

コレクション展 カワイイ!
6月17日(水)～7月27日(月)

展示室 C

コレクション展 モダン×ファッション
4月2日(木)～6月14日(日)
装飾性よりも機能性を重んじる20世紀の女性ファッション。今回はシャネルのモダンなドレスやスボーツウェアなどを展示。

コレクション展 森鷗外、黒田清輝と明治・大正の美術
6月17日(水)～9月7日(月)

